

各 位

上場会社名 株式会社 ダイケン 代表取締役社長 藤岡 洋一 代表者

5900) (コード番号

取締役総務部長 北脇 昭 問合せ先責任者 06-6392-5551)

(TFI

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年4月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知 らせいたします。

記

■ 業績予想の修正について

平成31年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年3月1日~平成30年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純 利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100	20	30	20	3.41
今回修正予想(B)	5,092	△26	△14	△14	△2.38
増減額(B-A)	Δ8	△46	△44	△34	
増減率(%)	Δ0.1	_	_	_	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年2月期第2四半期)	5,059	107	113	75	12.79

平成31年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	11,000	400	410	250	42.57
今回修正予想(B)	10,800	280	290	175	29.80
増減額(B-A)	△200	△120	△120	△75	
増減率(%)	△1.8	△30.0	△29.3	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年2月期)	10,674	391	400	266	45.45

(1)平成31年2月期第2四半期(累計)個別業績予想

当第2四半期の売上は、主たる事業の建築関連製品の売上高におきまして、前回発表予想比で△0.1%となる見込みであ ります。

建設市場の現況は堅調に推移しておりますが、長期的な縮小局面を迎える見通しの中、人材不足等の影響もあって着工 遅れや先送り等によりマイナスの影響が見受けられるました。 利益面では、原材料価格の高止まりに加え、製品の運搬コストで特に長尺製品の運搬費の上昇が激しく、第1四半期で開

示しておりました営業損失60百万円などを挽回できない結果となりました。

(2)平成31年2月期通期業績予想

通期の業績予想につきましては、当社の収益のウェイトは概ね下半期の中でも後半にありますことと、利益率の比較的高い製品の販売や今後実施を予定しております価格改定によるプラス効果等も若干ではあるものの寄与するものと予想しております。しかしながら、第2四半期までの業績を加味し上記のとおり修正いたします。

また、今後の為替レートの変動など不確実な要素が多いことから、今後、業績予想の修正が必要となった場合に、速やか におれらせする予定であります。 なお、配当予想につきましては、前回発表予想を修正しておりません。

(注)これら上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や今後の事業運営における内外の状況等により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。